

# 行政のデジタル化

(どうせ遅れたのだから、世界に追いつくより、世界の先に飛ぼうよ)



通りがかりの一見客

国立情報学研究所 教授

佐藤一郎

ichiro@nii.ac.jp

# 自己紹介: 佐藤一郎

国立科学博物館(上野)に  
センサーネットワークを設置



専門: 分散システムやOS等

- 国立情報学研究所・教授 / 国立大学法人総合研究大学院大学・  
複合科学研究科情報学専攻教授
- 学歴
  - 慶應義塾大学工学部電気工学科卒、同大学理工学研究科大学院  
計算機科学専攻後期博士課程修了、博士(工学)
- 講演に関係する委員会など
  - 内閣官房パーソナルデータに関する検討会構成員 & 技術検討WG主査
  - 総務省行政機関等が保有するパーソナルデータに関する研究会構成員
  - 総務省自治行政局地方公共団体が保有するパーソナルデータに  
関する検討会構成員
  - 総務省自治行政局「作成組織における事業採算性等に関するワーキンググループ」座長
  - 総務省統計研究研修所「ビッグデータコース教材作成検討会」座長
  - 総務省情報流通政策局「災害情報の共通配信基盤技術の実証実験に関する検討会」構成員
  - 経済産業省・総務省「企業のプライバシーガバナンスモデル検討会」座長
  - 内閣府SIPフィジカル技術「インフラ維持管理・マネジメント技術」審査・専門委員
  - 内閣官房・個人情報委員会・総務省行政管理局・総務省自治行政局(共管)「個人情報保護制  
度の見直しに関する検討会」検討会構成員
  - JSTさきがけ「社会変革に向けたICT基盤強化」アドバイザー

# デジタル化そのものが目的ではない

- 行政のデジタル化は民主主義に寄与しているか
  - 効率化や利便性がだけがデジタル化ではないはず
- どうせ遅れたのだから、世界に追いつくより、世界の先に飛ぼうよ(1/2)
  - デジタルを通じて行政を可視化
    - 市民に行政状況を詳細に見せることで、課題を共有できる
      - 通勤途中の道路工事が、何のために、どのような予算なのかが見えるべき
    - 自分とは違うコミュニティにおける課題を知ることが、社会全体をよりよくするはず
      - 市民意識の向上
  - 公文書管理の徹底・発展
    - 行政のデジタル化では公文書に関わる議論が皆無
      - 現状、官僚機構とは何かを議論せずにデジタル化だけを追い求めている
      - 事前根回しによる行政判断の不透明化を解消、ノンキャリアに依存の低減

# 行政デジタル化

- どうせ遅れたのだから、世界に追いつくより、世界の先に飛ぼうよ(2/2)
  - オンライン行政手続きの前にやるべきことがある
    - オンライン手続きは行政デジタル化の副産物であり、目的ではないのでは
    - 民間企業と違い、行政と市民の関係性は事業者と顧客ではないはず
    - 顧客満足度を上げるより、行政としての役割をあげるべき
    - 地域の課題は解決するのは人。自治体は市民に、(ドラッカー的な定義として)支援してくれる顧客として関与してもらうべき
  - マイナンバーよりも行政管理を変える方が先
    - まずは住基番号・カードを続けなかった理由を総括すべき
    - マイナンバーの民間開放より、本来目的を実現が先
      - マイナンバーで徴税は改善されたのか(税収は増えたのか)
    - 識別子は区別したい関心事に応じて設計される、相違な関心事への応用は、トラブルも起きやすいし、全体の利便性を下げる
    - マイナンバーより戸籍管理の改革が先(先にやるべきことがある) Satoh

# ところでデジタル庁は誰が評価するの<sup>5</sup>か

- 疑問: デジタル庁は施策を誰が評価するのか?
  - 政策評価法に基づく政策評価は、行政機関として成果が対象
    - 新公共管理論的(NPM)的な成果評価には、明確な評価軸と、行動な評価能力をもつ有識者の拡充が前提となるはず(あまりいうと自分にまわってくるというか、まわってきているというべきか)
  - デジタル化に関する評価
    - 高度IT化は既存政策評価機関(S省行政評価局)では無理では?
    - 民間のシステム監査の考え方を導入して、デジタル庁のIT化施策を技術的に評価できる仕組みが必要なはず

船頭多くして、船進まないどころか、漂流しないといいのですが  
さらに荷物を積み過ぎ、降ろさないと沈みます